

放送大学群馬同窓会

あかぎね

赤城嶺

第57号

発行者 放送大学群馬同窓会

発 日 平成30年7月

責任者 下田 清美

編 集 情報委員会



目次

P. 1	群馬学習センター全景、目次
P. 2	会長あいさつ、学習体験発表会のご案内
P. 3	平成30年度定期総会
P. 6	新入会員のご紹介
P. 7	私の課題発表会、卒業・修了祝賀会、前期履修サポート会、
P. 8	春の研修旅行報告、秋季研修旅行のご案内、台湾研修旅行のご案内、編集後記

会長あいさつ

積極的な予算計上で新たな試みを



群馬同窓会長 下田清美

群馬同窓会会員の皆様には梅雨時を迎えて、気温差の激しい中にも、健康に留意され、お健やかにご活躍のことと心よりおよろこび申し上げます。

政界も自然界も産業界も激動の渦中ではありますが、そのさなかにあつて沈着冷静に真理を求め理想を目指し自己実現を切望する会員や学生の皆さんには頭が下がります。

さて、平成30年度定期総会も原案通り可決され、活動は順調に推移しておりますが、今年度は当初予算を増額し、特に会員の皆様が参加しやすい内容とシステムを考え、恒例の研修旅行の参加者へ費用の一部助成を行います。各種講演会の講師は会員及び在学生など身近な方々に依頼し更なる連携と情報交換の場として在学生にも直接役立つ内容を推進します。会員間の親睦を図るためにDVD鑑賞などを取り入れることも計画しております。

振り返って、昨年NPO法人と共催の講演会(秋季研修会)は経費削減に加えて地域の皆さんが放送大学を知る良い機会であり、今後も有効な事業の企画や運営をしたいものと思っております。

土曜フォーラムも共催事業となって久しく、会員の皆様も積極的に参加されることを切に願っております。

今年度は役員の改選時に当たり、一同、新たな心をもって活動に取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学習体験発表会のご案内

日時：平成30年8月18日(土)午後1時30分～2時30分 終了後茶話会

場所：群馬学習センター第4講義室

内容：在学中、様々な環境の中において、学習を進め単位修得に努力し、卒業・修了研究を履修した体験を、それぞれの立場で自分流に学んだ独特な、あるいはユニークな方法をご披露していただき在学生にも参考にされることを目的とします。

発表者：未定、発表者を募集します。

(卒業研究や修士論文の内容の発表は対象外—謝礼あり)

平成30年度 定期総会

平成30年4月18日に定期総会を開催しました。提案された3議案は全て可決されました。

第1号議案 平成29年度 事業報告及び決算報告

平成29年度事業報告

29年4月1日	火	平成28年度会計監査(1)
4月9日	日	定期総会、講演会、平成29年度第1学期入学者の集い(同窓会の紹介)
4月28日	金	平成28年度会計監査確認業務(2)
4月30日	日	平成29年度第1回履修サポート会
5月20日	月	春季研修会(歴史の旅—太田市の史跡を訪ねて)
9月17日	日	秋季研修会(NPO法人すみれの会共催)講演会【会場 ふじみじどうかん】
9月24日	日	平成29年度第1学期卒業式(祝辞)・祝賀会(23人)
10月1日	土	平成29年度第2学期入学者の集い(同窓会の紹介)
10月29日	日	平成29年度第2回履修サポート会
30年3月17日	土	私の課題発表会(50人) 卒業・修了祝賀会(23人)

役員会等	4/1 4/30 6/24 7/15 9/2 12/16 1/13 2/10 3/10(計9回)
会報発行	56号(8月 800部発行)、57号(1月 800発行) 年間2回
連合会	総会(5/28)、役員会(5/11 7/20 11/18 12/8)計4回
土曜フォーラム	6/24 7/15 9/2 12/16 1/13 2/10 (計6回、茶話会を含む)
販売協力事業	放送大学叢書(3冊)、放送大学記念バッジセット(12個)

平成29年度決算報告

◎収入の部

項目	決算額	摘要
前期繰越金	2,685,626 円	ゆうちょ貯金(174,638 円) 会費振込口座(10,988 円) 残高 定額預金(250 万円)
終身会費	108,000 円	12,000 円(終身会費)×9人(新入会員数)
助成金	80,000 円	同窓会連合会より(用途—学生支援)
雑収入	15,183 円	定額貯金利息(14,180 円) 販売手数料(1,000 円) ゆうちょ貯金利息(3 円)
収入合計	2,888,809 円	

◎支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	10,000 円	総会記念講演会講師謝礼
活動費	68,939 円	祝賀会 研修会、茶話会 課題発表会 学生サークル等支援他
会報発行費	82,728 円	会報印刷代
消耗品費	710 円	コピー用紙、コピー代
交通費	43,020 円	群馬同窓会役員会 履修サポート会等
通信費	1,354 円	原稿郵送料他
支払い手数料	1,156 円	会費振込手数料(210 円) 送金手数料(432 円) 残高証明(514 円)
次期繰越金	2,680,902 円	定額貯金(250 万円) ゆうちょ貯金(170,638 円) 会費振込口座(10,264 円)
支出合計	2,888,809 円	

運営準備金については平成10年の同窓会組織の再編成による本部(連合会の前身)からの還付金です。(原資は発足当初からの10年間の入会金及び会費等の人数割り配分)

第2号議案 平成 30 年度、事業計画案及び予算案

平成30年度、事業計画案

30年4月7日	土	平成29年度会計監査
4月8日	日	平成30年度第1学期入学者の集い(同窓会の紹介)
4月18日	水	定期総会、学習体験発表会、茶話会
5月13日	日	平成30年度第1回履修サポート会
5月19日	土	春季研修会(太田市図書館・美術館、さざえ堂)
9月22日	土	第1学期卒業式(祝辞)・卒業・修了祝賀会
10月7日	日	第2学期入学者の集い(同窓会の紹介)
10月28日	日	平成30年度第2回履修サポート会
11月18日	日	秋季研修会
31年3月16日	土	私の課題発表会、卒業・修了祝賀会

役員会等	年間適宜(年間10回から12回)
会報発行	57号(30年7月)、58号(31年1月)、平成31年1月)年間2回、その他号外
連合会	総会、役員会(年間3~4回)、卒業等祝賀実行委員会(2月)、祝賀会(3月)
土曜フォーラム	学習センター共催事業(1学期3回、2学期3回)
販売協力事業	放送大学叢書販売、放送大学記念バッジセット販売

平成30年度予算案

◎収入の部

項目	予算額	摘 要
前期繰越金	2,680,902 円	ゆうちょ貯金(170,638円) 会費振込口座(10,264円) 定額貯金(250万円)
会 費	120,000 円	12,000円(終身会費)×10人(新入会員)
助成金	80,000 円	同窓会連合会より
雑収入	3,000 円	放送大学叢書(左右社より)販売協力手数料 貯金利息
収入合計	2,883,902 円	

◎支出の部

項目	予算額	摘 要
総会費	15,000 円	総会等諸費用(記念講演会講師謝礼、茶話会)
会議費	6,000 円	資料コピー代、役員会会場費(前橋第4コミュニティセンター)他
活動費	150,000 円	謝礼 祝賀会 研修会 課題発表会 茶話会 学生サークル等支援事業他
会報発行費	100,000 円	印刷費 発送作業費用等
事務用品費	2,000 円	筆記具 ファイル 他
交通費	50,000 円	役員会 履修サポート会等
通信費	5,000 円	会報郵送料 原稿郵送料他
消耗品費	3,000 円	コピー用紙等
支払い手数料	1,000 円	会費振込手数料 送金手数料 残高証明書他
雑 費	1,000 円	日用雑貨品費等
予備費	30,000 円	予備費
運営準備金	2,520,902 円	次期繰越金
支出合計	2,883,902 円	

第3号議案 役員改選案

会 長：下田清美、
 副会長：(総務)高寺史佳、(研修)佐藤弥生、(情報)深澤輝彦
 書 記：高寺史佳
 会 計：小菅房子
 叢 書：高橋由美子
 監 査：剣持昇一、関口サト子
 幹 事：(総務)笠原進二、(情報)別府龍之、(情報)児島秀行 計 11 名

また総会后、高寺副会長を講師として、「学習体験発表会」を開催しました。

ご入会、ありがとうございました。

澤部 博さん（高崎市）、武田 恒夫さん（太田市）、

新藤 政エさん(渋川市)

(入会順)

平成 29 年度入会の鷺山正道さんから、卒業、入会に際しての思いを寄せていただきました。

卒業感想文

心理と教育コース 卒業

鷺山 正道

私は入学時に、必ず4年で卒業すると決め、平成25年10月に心理と教育コースに入学し、昨年の平成29年9月30日に卒業することができました。

卒業要件である124単位を取得するためには、平均して1学期ごとに最低16単位を取得しなければならないので、入学した最初の学期から放送授業を8教科申請しました。

最初の頃は、大学の勉強方法が全くわからず、全ての勉強が自己流でした。中学・高校時代と同じ勉強方法で、放送教材を読みながら試験に出題されそうな箇所をノートに書き込んでいました。そして、あっという間に単位認定試験の時期が来て、8日間の試験が終わり、2週間後に合否結果がわかりました。8教科中3教科のみの合格であったため愕然としました。私のこれまでの勉強方法ではだめだということに気づきました。いちいち文章を書き込んでいたのでは、8教科全て勉強することは不可能であると思い、勉強方法を変更することにしました。まず、放送教材が届いた2週間以内に通信指導問題の全教科を仕上げ、その後しばらくは他の資格の勉強をして、試験が始まる2か月前からそのための試験勉強を始めることに決めました。新たに考えた勉強方法は、ノートには書かずに、ひたすら放送教材を読みこなすというものでした。1教科を3～4日で読み終えるようにして、8教科を順番に読み、それを3巡以上読むことを目標にしました。テレビとラジオ放送は録画、録音して、試験前までに必ず一通りは見聞きするようにしました。そのような勉強法に変えた結果、その後の試験結果は殆ど1回で合格できるようになりました。面接授業も多めに受講した結果、卒業時の単位数は131単位でした。最初に決意したとおり、4年間で卒業できたことは、自分でもよくやったと思います。

卒業後は認定心理士の資格も取得し、心理学を学んだことを活かそうと思い、その後も心理アドバイザー、心理インストラクターの資格を取得して、今現在は心理カウンセラーを育てるための講師の仕事も副職ではありますが、行っています。今思えば、放送大学に籍を置くことができ、本当に良かったと思います。

「私の課題発表会」及び「卒業・修了祝賀会」

○「私の課題発表会」

群馬同窓会と群馬学習センター共催による卒業研究、修士論文の発表会で、学部は増田英幸さん吉本順子さんの卒業研究、修士は井出雅代さん内田雅美さんの臨床心理プログラムの修士論文のテーマの内容が質問を含め1人20分にまとめられて発表されました。約50名の聴講者は発表者が長期に渡って取り組まれた内容に熱心に聴き入り、質問をしていました。

これから自発的な卒業研究、修士論文に取り組まれようとする学生の皆さんに多いに参考になったことと思われまます。

○「卒業・修了祝賀会」

「私の課題発表会」の後に群馬同窓会主催の祝賀会が発表者4名、卒業生3名、教職員6名、同窓会役員8名計21名で会場をトラットリア チーニョに移し行われました。卒業生の皆さんが卒業までの体験やこれからを語られ、先生方のお祝いの言葉とご自身のプライベートな話までされ、和やかな雰囲気での祝賀会でした。

平成30年3月17日（土）実施

群馬同窓会 副会長 高寺 史佳

前期 履修サポート会

群馬同窓会 幹事 笠原 進二

5月13日、恒例の履修サポート会が群馬学習センターで開かれました。今回は、相談者サポーター共に7名、相談者は、学部所属の方、大学院所属の方双方がいらっしゃいましたが、それぞれの聞きたいことに合わせて、サポーターが配置されました。相談は単位の取り方、勉強への取り組み方、資格取得への挑戦などでしたが、事後の相談者アンケート結果によりますと、大半の方がサポートに満足して下さったようです。

相談者の中には、苦学の末に現在の職業にかかわる資格を取得し、なおかつ関連する他の資格の取得、更に幅広い教養を身に着けることを目指すなど、伺っていて頭の下がる、素晴らしい向学心を示して下さる方もあり、サポーターにとっても目が開かれる思いの取り組みでした。

今後は、特定の決まった日時だけでなく、相談者と日程調整の上、随時相談の実現を目指していきます。会員の皆様におかれましても、貴重な経験をこれから頑張ろうという学生のために役立てて頂ける機会として、参加をご検討下さることを期待しております。

春の研修旅行の報告

日時：平成30年5月19日（土）

場所：太田市図書館及び美術館、さざえ堂、天神山古墳（前方後円墳）

さざえ堂は国内3か所しかない有名な建築物で実に素晴らしいものでしたが、参加者6名で非常に残念でした。

秋季研修旅行のご案内

日時：平成30年11月4日（日）午前10時集合（沼田駅）

場所：沼田市、川場村方面

内容：リンゴ狩り、迦葉山龍華院弥勒寺、吉祥寺、川場田園プラザ、民俗資料館
武尊神社、虚空蔵堂、そば源（昼食）日帰り温泉（順不同）
（詳細は10月に交流室並びにホームページに掲載します。）

申込み：佐藤弥生（研修担当）090-3687-7468

台湾研修旅行のご案内

この度、若宮クラブより台湾研修旅行をご提案いただき、群馬同窓会も希望者にとってはまたとない機会と思われ、特別企画として「共催」としました。下記の下記で計画しています。

記

日時：2019年3月4日～8日の間で2泊3日か3泊4日

共催：学生サークル若宮クラブ

後援：放送大学群馬学習センター並びに各学生サークル

※今後の情報は群馬学習センターのホームページ（HOME 群馬学習センター サークル・同窓会のご案内の[同窓会]をクリック）に掲載します。また会報赤城嶺第58号（平成31年1月発行予定）に詳細を記載します。
（同窓会のホームページの詳細は、赤城嶺56号にも掲載されています。）

編集後記

弓道の体験教室に通っています。また少林寺拳法健康プログラムというものも自らが主催者として始めました。弓道も少林寺拳法健康プログラムも、格闘的要素がないので、年齢が高くても始めることができます。頭の生涯学習は放送大学で行い、身体の生涯学習を皆さん何か始められてはいかがでしょうか？きっと何年後かにその決断を「良かった」と思い返すことができるのでは、と思います。（情報委員長 深澤輝彦）